

## 平成28年度秋季卒業式・学位授与式式辞

ご卒業ならびに学位記授与をされた皆様、本日は心よりお慶び申し上げます。日夜研鑽を積んでこられたこれまでの成果に敬意を表しております。

本日ここに、本学副理事長、理事、学部長、研究科長、そして皆さんを直接ご指導いただいた先生方のご列席のもと、卒業証書・学位記を授与する運びとなりました。おめでとうございます。

本日は、3名の中国からの留学生がおられますので、中国語でも祝辞を述べさせていただきます。

「恭喜恭喜、恭喜 你們 順利 卒業！」

実は、本学では、秋の卒業式・学位授与式を執り行うのは初めてのことです。わが国では、入学式・卒業式は、桜花爛漫の青空のもとで行われる国家的行事で、長年の伝統と歴史があります。

その中であって最近、一部の大学では秋入学が行われています。その主な理由は、グローバル化を推進するためのものです。欧米や中国など諸外国の多くは、9月入学であることから、わが国の、あるいは海外からの留学生の利便性などから、秋入学が望まれていました。

大学入学情報図書館 RENA によると、昨年秋入学を行った大学は、学部では 5.7%、大学院では 31.5%で、公立大学に限るとそれぞれが 0.7%、26.1%で、その比率は年々増えています。

本学では、一昨年策定した「未来プラン」のなかで、グローバル化を押し進めることを謳っています。その一環として、昨年13名の秋季入学生を迎えました。そのうち海外からの留学生は、バングラディッシュ、エジプト、ジンバブエ、中国からの4名でした。

本日、昨年の秋季入学式を受けて、本学では第1回目となる秋季卒業式・学位授与式を執り行っています。

このような背景を踏まえ、本日の式では、春の卒業式と変わる点がいくつかあります。

その一つは、私からの学長挨拶です。春の卒業式では通常、卒業生が学窓を巣立ち社会で活躍していただきたいとの思いを中心に話します。本日は、その思いに加えて、「皆さんは、本学の記念すべき秋季卒業生の一期生である自覚を持っていただきたい」ことをお話します。

いきなり、「一期生の自覚」と言われても、皆さんは困惑されるかもしれませんが。なぜならば、「9月に秋季卒業式」があることに最も驚倒しているは皆さんでしょうし、昨年秋の入学生のように、主体的に秋季卒業生になられたのではないので、突然、「あなたは秋季卒業生の一期生だ」と言われても、戸惑いを感じておられることと思います。

しかし皆さん、ちょっと発想を変えて、考えてみてください。本学の秋季卒業生の一期生には、皆さま以外の誰でもなれるものではありません。

皆さんは、たまたま、突然降って湧いたように、自分の意志とは関係なく、秋季卒業生の一期生になられたのです。この奇遇を本学のさらなる発展に活かしていただきたいのです。

本日の卒業生と学位授与者は合計17名で、春の卒業生らから見ると、わずか1%余りにしか過ぎません。

しかし、本学では将来、秋季卒業生の中から多くの逸材が輩出し、国内外で活躍することは間違いありません。皆さんは、秋季卒業生の一期生としての誇りを持って、後輩を束ねる立場になっていただきたいと思いません。

同じ一期生と言っても、17名の内訳は多種多様です。在籍する学部・大学院はほぼすべてに渡り、修了する学生の身分も、学部学生、大学院学生、論文博士合格者とさまざまです。中国留学生も3名います。しかも、秋に卒業あるいは学位取得される理由も千差万別です。

これらの違いの壁を乗り越え、同じ日に秋季一期生として卒業あるいは修了する同期生としてこれから連携していただきたいと思います。

これまでのところは重要なので、一区切りとして、その要旨を中国語で話します。

「名古屋 市立大学 国際化 以後、今年 第一次 挙行 秋 開学 典礼 和 卒業 典礼。」

ところで、この夏のオリンピック、パラリンピックでは、選手が活躍する姿に、多くの国民は感動しました。私が感動したのは、女子卓球、男子400メートルリレー、男子体操などの団体競技です。

その理由は、選手がチームとして一つの目的に向かって一体となり、たとえ仲間がミスをしてカバール、励まし合う姿勢で、その結果として選手個人の成績よりも、団体の成績がより優れていたことです。

そこには、真剣に取り組む集中力、人への優しさやいたわり、そして我が国を愛する姿があり、その姿に国民は勇気をもらい、若いアスリートから多くのことを学びました。

名市大も同じです。教職員や学生がお互いを信頼し、助け合い、個々のすぐれた力を一つにすることにより、卓越した力をより発揮できるのだと思います。

名市大は、創設132年になる薬学部、73年の医学部、52年の経済学部、昨年20年を迎えた人文社会学部と芸術工学部、そしてもうすぐ成人式を迎える看護学部とシステム自然科学研究科からなる7人家族です。歴史や専門性が違う7人の家族すべてが助け合うことで名市大ファミリーはさらに進化するのです。

本日ここにおられる秋季卒業生 1 期生の皆さんは、学部や年齢、国籍の違いの壁を乗り越え一体となり、名市大への愛校心をいつまでも持ち続けていただきたいと思います。

これらのことも重要なので中国語で話します。

「我 希望 你們 卒業 後、在 社会中 成功、為 日中 友好  
努力 吧！ 謝謝 你們！」

本学は、輝かしい伝統をもとに、世界に冠たる大学をめざして飛躍してまいります。皆さんは、名市大に誇りと愛を持ち、開学 100 周年の 34 年後には、輝かしい国内外で活躍しておられることを心より願って学長の式辞といたします。

本日はおめでとうございます。

平成 28 年 9 月 20 日

名古屋市立大学 学長  
郡 健二郎